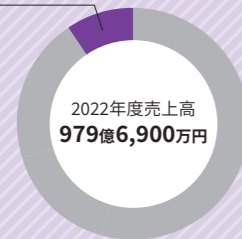


セグメントの概況

エンジニアリング
事業

Engineering

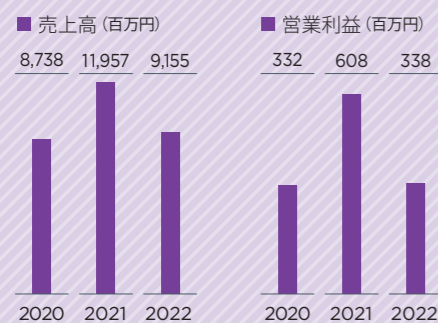
売上高構成比

売上高構成比9.3%
91億5,500万円

業績ハイライト

鉄道事業者向け機械設備のほか、家庭紙メーカー向け製造設備、各地のJA向け営農プラントなどの売上がありましたが、家庭紙メーカー向け製造設備が2021年度に比して減少したことなどにより、エンジニアリング事業の売上高は9,155百万円となり、2021年度に比べ23.4%減少となりました。

過去3か年の売上高・営業利益



事業内容 [主要製品]

エンジニアリング事業は、エンジニアリング、営農施設、産業機械の3つで構成されており、それぞれ販売先の業界は異なりますが、各種機械設備のエンジニアリングを行っている点で共通しています。社内で開発・設計したものを協力会社（アウトソース）により製造し、それを工事施工して納入後のメンテナンスまで含めトータルで対応しております。機械単体ではなく、ライン設備全体の最適なレイアウト、設備管理システムなどの提案も行うなど、個々のお客様のニーズに即した製品やサービスを提供できることが強みです。

エンジニアリングでは、主に鉄道事業者向けの鉄道車両用検修設備およびJR東海向けのリニア用機械設備を取り扱っております。



先頭車研ぎ装置

営農施設では、農業協同組合向けを中心に穀物乾燥調製貯蔵施設など営農プラント向け設備の新設・更新を行っております。



カントリーエレベーター

産業機械では、製紙業界向けに製紙関連の製造設備やリサイクル業界向けに破砕機などを販売しております。



破砕機

営農施設、産業機械とも約50年にわたり事業を展開しており、お客様との強固な信頼関係を構築してきました。なかでも種村から優良種子をつくる種子センターおよびトイレトーパー等の家庭紙加工設備は全国トップシェアを誇っています。



執行役員 エンジニアリング本部長 五十嵐 基仁

エンジニアリング事業で取り扱う、鉄道事業者向け機械設備、穀物乾燥調製貯蔵施設および製紙機械は社会基盤として不可欠な設備であり、今後も一定の需要が継続すると見込まれます。これらの設備には安全性向上、省力化に加え、高齢化や労働力不足を補う省人化や保守性の向上が求められていることから、お客様のニーズにきめ細かく対応する提案を進めることにより、収益拡大に努めてまいります。

車両検修における新規システム開発に注力

エンジニアリング事業ではこれまで、多くの鉄道事業者向けに車両検修設備を納入してまいりました。

車両検修の過程では、車両本体を仮の台車に載せ、作業員が手動で安全を確認しながら整備工程間の移動を行うことが一般的です。昨今、鉄道事業者においても働き方改革による省人化・省力化が推進されている背景を受け、当社では工場全体で車両本体を自動搬送するシステムの開発に注力しております。今後も、安心・安全でお客様のニーズに沿った車両検修設備の開発、提供に取り組んでまいります。



車両移動を指示

車両を自動搬送

リニア機械設備

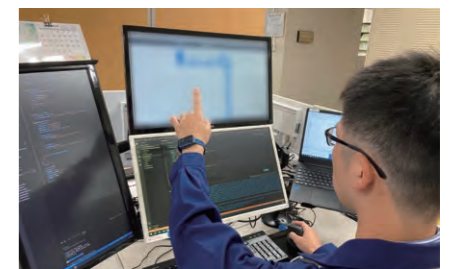
当社は、リニア中央新幹線向け機械設備の技術開発や、山梨実験線への設備納入及び保守などを行ってまいりました。今後も、エンジニアリング事業の柱の一つとして位置付け、積極的に取り組んでまいります。



提供：JR東海

施設管理のDXへの取り組み

営農施設事業で納入している米麦の乾燥調製貯蔵施設では、食料品としての厳格な品質管理を維持する一方で、施設管理においては作業負荷軽減が求められています。当社ではこのお客様のニーズに対応するため、施設管理のDXを推進し、施設管理帳票を自動作成、保存、管理するシステムを開発しました。今後は、施設運用のアシスタント機能など、より容易に品質の高い乾燥調制作業が可能なシステムに発展させ、新たな受注を獲得すべく営業・提案活動に取り組んでまいります。



トイレトーパー製造ラインの各種設備提案

製紙会社向けに、古紙を再生する設備、ティッシュペーパーやトイレトーパー、タオルペーパーなどの家庭紙を加工、梱包する設備を納入しております。

昨今、家庭紙業界で「トイレトーパー倍巻き製品」の製造が盛んとなっている背景を受け、当社では新型包装機WH30N-Tを開発し、多くの製紙会社向けに納入してまいりました。また、その周辺設備となる搬送ラインにおいては、長年培ったコンベヤ構成・ライン制御のノウハウを生かし、効率的な搬送と作業導線を実現し、お客様からも高い評価を得ております。今後も「倍巻き製品」に関わる機械設備や搬送ライン設備の拡販に注力してまいります。

